

～風待ち研究会活動情報～

昭和初期の歴史的建築物が今も残る、この気仙沼市内の風待ち地区。そこに佇む和風・洋風・蔵といった建物を紹介してきたこの“風待ち建築探訪”ですが、年度末と言うこともあり、なかなか取材時間が取れず、今回も建築探訪の取材時にお世話になっている、気仙沼市の市民団体の“風待ち研究会”の活動報告になってしまいました。

我々建築担当もアドバイザーとして関わりを持たせていただいた、内閣府の“全国都市再生モデル調査事業 歴史的建造物「板倉」を活かしたまちづくり調査事業”(国土交通省管轄)の報告書が完了いたしました！

報告書については、以下の内容でまとめられています。

事業背景、概要、体制

活動内容

- ・50棟の調査・・・調査・選定方法、板倉50棟の特長・用途・年代をプレゼン形式にまとめた調査書
- ・大学生詳細調査の5棟・・・大学生との共同調査による意義、選定方法、調査成果品(CAD図面)
- ・国登録有形文化財への申請・・・板倉調査により6棟の選定と申請、文化的価値についての講演会
- ・新月渓谷と板倉との景観づくり・・・渓谷と板倉による景観づくりの提案シミュレーションとイラスト
- ・高校生の撮影会並びに写真展と調査板倉パネル展
・・・次世代への継承を託し、高校生の視点による写真撮影会と展示会
- ・活動報告とパネルディスカッション・・・事業成果の報告とまちづくりへ向けての討論会、アンケート集計まとめ(総括、展望)



そんな活動の中、財団法人高速道路交流推進財団で行われた、第一回「観光資源活用トータルプラン」"来て見て良かった！また来るよ！"の優秀賞に“時を紡ぐ空間づくり”気仙沼商工会議所(協力：風待ち研究会)の案が選ばれました。

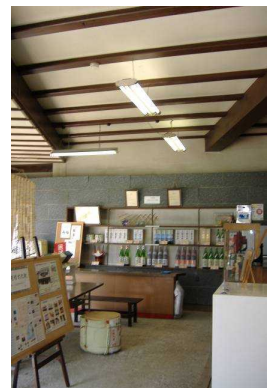
この募集には、全国から57件の応募があり、最優秀賞(1点)と優秀賞(2点)の3点選ばれ、その中の1点に選ばれる快挙でありました。

3年間と言う実施期間のなかで計画が実施される提案内容は、“時を紡ぐ空間づくり”と称され国道284号線を“黄金酒街道”にするとする斬新な提案になっています。

この国道284号線は気仙沼市と岩手県の一関市を結ぶ主要幹線道路になっており、この道路沿線には4件の国有形文化財の酒蔵が存在しています。また、国道284号線と三陸縦貫自動車道、東北自動車道一関ICとの関係性を深め、そのラインに存在する歴史的建造物(平泉、国有形文化財の酒蔵、風待ち地区の建築物、板倉)やみやぎ寿司街道等の地域の歴史文化や食文化との連携性を高めることで、観光地としての知名度を上げ、観光戦略としての循環型ルートを目指すと言われています。

具体的な実施方針は以下の内容とされています。

- ・「黄金酒街道」基本構想構築
- ・共通ブランドの開発・デザイン
- ・酒街道ラベルの作成・普及
- ・HP、フォーラム開催による情報発信
- ・動向調査



実に興味をそそる、楽しみな計画内容で、今後の風待ち研究会の活躍も期待したいと思います。

興味のある方は、以下のHPを参照して下さい。

- ・風待ち研究会HP <http://www.aitaii.com/kazamachi/>
- ・風待ち研究会活動ブログ <http://kazamati.cocolog-nifty.com/blog/>